

『リンカーン』 原題 LINCOLN 2011



(C) 2012 TWENTIETH CENTURY FOX FILM CORPORATION and DREAMWORKS II
DISTRIBUTION CO., LLC

映画批評

『リンカン』 原題:LINCOLN

～奴隷制を禁止する憲法修正案 13 条の制定と南北戦争終結をミッションとする

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

アメリカ第 16 代大統領リンカンの政治家として信念をつらぬく表の顔と、家族の絆や弱者サイドの裏面の顔が鮮明に見えてくる映画である。そしてアメリカ近・現代史の手引きをしてくれる映画でもあるといえよう。

人間の平等と自由は民主主義の原点である。再選したリンカン大統領は、奴隷制を禁止する憲法修正案 13 条の制定と南北戦争終結をミッションとし、疲労困憊を抑えて反対派の下院議員たちを説得し、議会で三分の二の賛成票を得て修正案を成立させた。アメリカ史上はじめて奴隷制を完全に撤廃し、自由平等を法的に認める法律である。

リンカンは再選後、1860.11.6-1865.4.14 までの 4 年間、奴隷制禁止 13 条の修正案制定が先かそれとも南北戦争終結が先かの選択を迫られる。議会では共和党と民主党の両党で激しい論争が続き、戦争前線では南北両軍の激戦が繰り広げられる。

憲法制定には三分の二の賛成票が必要である。これを下院で成立させるには最終日までの 10 日間で、残り 20 票を集めなければならない。南北戦争終結を求める声が高まる中、“法の下でこそ人間の自由と平等ありき”を信念とするリンカンは修正案制定を南北戦争終結より先に決着させることを決意する。

そして票集めに自ら行動する。本映画では、その苦渋に満ち、疲労困憊しながらも行動する純粹で敬虔なリンカンと妻メアリーの気丈で機知にとむ姿が、映画の進行につれて浮き彫りになってくる。



本映画は、見所というより聴き処、つまり耳を傾けて聞くシーンの多い映画である。たとえば、時系列に挙げると、

- リンカンと戦場兵士との対話—ゲティスバーグの演説を聞いて士気高揚したと兵士がいう。
 - リンカンが昨夜みた夢を妻メアリーに話す会話
 - タデウス・スティーブンス(奴隷解放急進派)とリンカーンの問答
 - タデウス・スティーブンスとフェルナンド・ウッド(奴隷制強固賛成派)との論争
 - アレキサンダー・スティーブンス(南軍連合副大統領)とリンカンとの交渉
 - ユリシーズ・S・グラント(合衆国陸軍 総司令官)と南軍ロバート・E・リー将軍とのアポマトックス・コートハウス(Appomattox Courthouse)での降伏交渉
- 等で、これらのシーンには数かずのメッセージ、問いかけや駆け引きや想い、交渉スキルも埋蔵されており、そこでは各人の心の深層が語られている。

見逃せない映像シーケンスもある。それは歴史上重要な事実を印象深く再現しているシーンで、映画の終盤近くに南北戦争の終結シーンとして映し出される。

南軍のリー総司令官の降伏を受諾した北軍のグラント総司令官とリンカン大統領の長男ロバート・リンカン他多数の士官たちが、南軍の撤退を見送るシーンである。ゲティスバーグでの激戦後、互いに敵軍として4年間の戦いを指揮した二人の将軍が、1865年4月9日、バージニア州アポマトックス・コートハウスで、合衆国市民として和平を共にわかちあう。双方の胸中の想いが言葉を超えて伝わってくる。30秒ほどの映像シーケンスだが、騎乗のリー将軍とスローチハットを胸に会釈するグラントの気品ある双姿を淡々として印象深く見せてくれる。

この場面を、本映画の脚本を担当したトニー・クシュナー(*Tony Kushner)は、つぎのように叙述している。

Lee should leave, having just surrendered to Grant inside; but he's immobile. Some of the officers of both sides look at Lee, some can't bear it. Lee tries out various expressions: pride, defiance, blankness. Grant stomps onto the porch of the house, followed by his staff. Among them is Robert Lincoln. Grant, lost in thought, stops, taken aback, realizing that Lee's still there, astride his horse. Everyone looks at the two men who look awkwardly at one another. Then Grant removes his famous slouch hat. Everyone freezes for a moment, and then one by one, the officers of the Union Army remove their hats. Lee is visibly moved by this gesture of respect. He raises his hat, briefly, only an inch from his head. Then, pulling slightly on his horse's reins, he rides away.

映像はこの叙述どおりに描き出されている。——言葉から映像を創出するかそれとも映像から言葉を想起するかである。

映画の冒頭で、スティーブン・スピルバーグ監督は、「リンカーンは私にとってもっとも魅力的な人物だ。彼の人生は、今を生きるわたしたちへのメッセージに満ちている。」と、観客へ向けて語りかけている。

*Tony Kushner: 1956年7月16日、ニューヨーク市生まれ。代表作は *Angels in American: A Gay Fantasia on National Themes* で、20世紀を代表する戯曲と絶賛され、ピューリッツァー賞、トニー賞を受賞した。映画の脚本では『ミュンヘン』があり、『リンカーン』はスピルバーグと組んだ2作目。歴史を緻密に再現して、その意味を提言する作家として高く評価されている。

原作: ドリス・カーンズ・グッドウイン著「リンカーン」. 平岡緑訳. 中央公論新社.

Doris Kearns Goodwin. *Team of Rivals: The Political Genius of Abraham Lincoln*

【映画情報】

『リンカーン』 原題:LINCOLN

2013年4月19日(金)TOHO シネマズ日劇、他で全国公開

公式サイト:<http://lincoln-movie.jp>

facebook オフィシャルページ:<http://www.facebook.com/LincolnMovieJP>

20世紀フォックス映画 配給

(20世紀フォックスで試写. 2013.4.5 記) 2013/4/5 (C)m.tsukada All Rights Reserved.